

## ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等一覧

所 属	平成30年度の3R(ごみ削減等)に向けた活動状況	令和元年度の3R(ごみ削減等)に向けた活動目標
山形県 環境保全協議会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 やまがた環境展に出展。会員企業200社へ出展依頼及び当日の参加を呼びかけた。</li> <li>2 メールマガジンを利用し、会員企業への案内等はメールを利用しコピー用紙の削減を行った。</li> <li>3 当協議会総会後の企業等交流会(懇親会)で参加者72名に対して、30・10(さんまる いちまる)運動を呼びかけた。</li> </ol> ※ 別添資料①	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 やまがた環境展に出展。会員企業へ出展依頼、当日の参加を呼びかける。</li> <li>2 総会後の企業等交流会(懇親会)で30・10(さんまる いちまる)運動を呼びかける。</li> <li>3 メールマガジンを利用し、会員企業への案内等はメールを利用しコピー用紙の削減を行う。</li> </ol>
一般社団法人 山形県産業 資源循環協会 (旧山形県産業 廃棄物協会)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 やまがた環境展で展示ブースを設置し、産業廃棄物処理工程や不法投棄原状回復作業などのパネル展示、廃棄物全般についての環境クイズ、リサイクル自転車の来場者抽選会を行い、廃棄物に関する啓発を行った。なお、リサイクル自転車を17台提供した。</li> <li>2 県の総合支庁ごとに設置されている不法投棄防止対策協議会に助成するとともに、原状回復作業に会員が協力した。</li> <li>3 会員名簿は、毎年印刷し配付していたが、平成30年度から取りやめた。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 産業廃棄物処理業は、廃棄物を単に処理するだけでなく、資源やエネルギーとして活用していくことにより循環型社会の形成を推進する産業であるが、このことを広く社会にアピールしていくため、当協会の名称を2019年4月から「一般社団法人山形県産業資源循環協会」と変更する。</li> <li>2 やまがた環境展で展示ブースを設置し、産業廃棄物処理工程や不法投棄原状回復作業などのパネル展示、廃棄物全般についての環境クイズ、リサイクル自転車の抽選会を行い、廃棄物に関する啓発を行う。(予定)</li> </ol>
山形県商工 会議所連合会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 使用済用紙や古紙等を分別し、リサイクル活動を行った。</li> <li>2 女性会を中心に3010運動を取り入れ、呼びかけを行った。</li> <li>3 会館にごみ削減キャンペーン等のポスターを掲示。</li> </ol>	○ 左記活動を継続して行っていく。
山形県電機商業 組合	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家電リサイクル法の推進を図るため、組合員へ地域電気店用の家電リサイクル法改正版ポスターを配布し店内に掲示していただいた。</li> <li>2 組合事務所では、印刷済みの用紙の裏紙使用や雑紙類の分別など事務所で出来るリサイクル活動を実施している。</li> <li>3 食品ロス削減を目指し、3010運動を支部総会の懇親会や講習会の昼食時に呼びかけている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域電気店でレジ袋の使用を控える。</li> <li>2 組合事務所においては継続して行う。</li> <li>3 3010運動についても引き続き呼びかけていく。</li> </ol>
一般社団法人 山形県建設業 協会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会員企業や支部青年部による道路・河川の美化活動を実施している。</li> <li>2 会員企業や支部への案内や通知等は、ほぼ全てメールで配信しペーパーレス化している。</li> <li>3 会員企業においては、情報共有システムを用いて受発注者間の書類の簡素化、電子化に努めている。</li> <li>4 美しい山形・最上川フォーラムの会員として年会費を納め、行政、市民による県内河川の美化活動を支援している。</li> </ol> ※ 別添資料②	○ 来年度も引き続き30年度の事業を実施する予定。
山形県再生資源 商工組合	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 定時総会時の会食事前オーダー制。</li> <li>2 所属する事業所単位で行う宴会時の食べ切り運動への声掛け。</li> <li>3 会議資料の一部簡略化に伴うコピー用紙の削減。</li> <li>4 不必要なシュレッダー処理中止の声掛け。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 30年度の取組事項の再取組み。</li> <li>2 取引先への用紙等分別指導の実施。</li> <li>3 団体として取り組めるゴミ減事業の新しい道を探していく。</li> </ol>
山形県環境整備 事業協同組合	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 廃棄物の適正処理の推進</li> <li>② 廃棄物の不法投棄の防止</li> </ol> </li> <li>2 宴会時の食べきり運動(3010運動)の呼びかけ</li> <li>3 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 廃棄物の適正処理の推進</li> <li>② 廃棄物の不法投棄の防止</li> </ol> </li> <li>2 宴会時の食べきり運動(3010運動)の呼びかけ</li> <li>3 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減</li> <li>4 災害時体制の構築 山形県との「災害一般廃棄物の収集運搬に係る協定書」に基づき、被災市町村及び関係団体と連携し、災害廃棄物処理体制を構築する。</li> </ol>
公益社団法人 日本青年会議所 東北地区山形 ブロック協議会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会議の際、次第等紙資料を使用せず、ウェブ上で配信しペーパーレス会議を実施。</li> <li>2 事業開催時、アンケートの実施を紙資料を使用せず、ウェブアンケートを実施。</li> </ol>	○ 31年度も、30年度の取組みを継続して実施の予定。

所 属	平成30年度の3R(ごみ削減等)に向けた活動状況	令和元年度の3R(ごみ削減等)に向けた活動目標
公益社団法人 山形県食品衛生 協会	1 食品衛生責任者養成講習会の公衆衛生学において、廃棄物処理の中で講義を行った。 2 「もったいない山形」協力店について、食品衛生責任者養成講習会、山形県食品衛生推進者大会、指導員の会議等において協力店登録についてのPR、情報提供を行った。	1 食品衛生責任者養成講習会の公衆衛生学において、廃棄物処理の中で講義を行う。 2 「もったいない山形」協力店について、食品衛生責任者養成講習会等の機会を捉えて、協力店登録についてのPR、情報提供を行う予定。
山形県JA女性 組織協議会	1 食品ロスを削減するべく、「もったいない」を「ありがとう」に変えるフードドライブに取り組み、自宅で余っている食品等の提供に協力した。 ※ 別添資料③ 2 会議や研修会を行った際には、昼食時に箸を持参し、割り箸の使用を控える「マイ箸運動」を行っている。	1 引き続き、フードドライブに取り組んでいく予定。 2 節電による環境保全、防災について考える取組みとして「88運動」をはじめ、家庭レベルで取り組みやすい環境保全活動に取り組んでいく予定。
山形県工業会	1 印刷済みの用紙や古紙等を分別回収し、リサイクル活動に努めている。また、ゴミの分別も行い、ゴミ削減活動も行っている。	○ 31年度も引き続き、30年度の活動を周知徹底していきたい。
山形県商工会 女性部連合会	① 廃食油の回収と再利用 ② 牛乳パックの回収と再利用 ③ フリーマーケット・バザーの定期的な開催 ④ エコキャップ回収運動 ⑤ マイ箸持参運動 ⑥ アルミ缶・プルタブ回収運動 ⑦ ゴミ袋削減運動 ⑧ 生ゴミ堆肥化運動 ⑨ その他(普及啓発、環境教育など) ※ 各商工会女性部の実施状況について別添資料④	○ 各女性部で継続してエコ活動に取り組んでいく予定。
山形県連合 小学校長会	県内各校におけるエコ活動の推進(以下のとおり)。 1 資源回収等リサイクル運動 2 保護者・児童への啓発活動 3 給食の食べ切り、残飯を少なくする運動 4 飲食を伴う会合等における3010運動の推奨	○ 同左を中心に取り組む。
山形県中学 校長会	県内各校におけるエコ活動の推進(以下のとおり)。 1 印刷物のリサイクル 2 コピー枚数の制限 3 会議資料のペーパーレス化 4 資源回収等リサイクル活動(牛乳パック、エコキャップ、アルミ缶等の回収) 5 給食の残飯、残菜を減らす運動 6 故紙でのゴミ箱つくりと活用 7 飲食を伴う会合での3010運動の推奨	○ 各中学校におけるエコ活動を推進する。
山形県消費生活 団体連絡協議会	以下のような3R活動を各単会において実施。 1 買い物袋持参運動 2 廃油の利用(石けん作り、キャンドル作り) 3 生ゴミのたい肥化、ポカシ等 4 ペットボトルキャップ回収(ワクチンに変える) 5 古布の利用(ストラップ作り、マイ箸入り作り、エコタワシ) 6 バザーの開催 7 食品ロスの削減(食べ切り運動) 8 牛乳パック利用(正座いす作り)	○ 前年同様、3R活動を継続して実施する。
公募(伊藤委員)	1 フードドライブを実施し、ご家庭で余っている食品・生活用品を寄付してもらう。(参考:平成30年4月～平成31年1月までの寄付総量 7,661kg) 2 ポスターを制作し、広くフードドライブを呼び掛ける。 3 講演会で食品ロスについて呼びかける。 4 山形県JA女性組織協議会様と共にフードドライブ実施。(2018年は2回で2,181kg) 5 マックスバリュ東北様に設置させていただいているフードドライブボックスの設置場所を増やし、余った食品等を寄付しやすくした。(2017年度 3店舗⇒ 8店舗に増やした。)	1 フードバンクの認知度を上げ、ご家庭で余っている食品はフードドライブ活用しおすそ分けをすることにより、ごみにならないよう呼びかける。 2 職場・団体のフードドライブを実施していただけるように働きかける。 3 必要とする方と必要ない方のマッチングを推進する。例えば、介護用おむつ。必要な方と必要でなくなり処分したい方とのマッチングを推進し有効活用できればお互いにWINWINになり、なおかつごみも減らせる。

所 属	平成30年度の3R(ごみ削減等)に向けた活動状況	令和元年度の3R(ごみ削減等)に向けた活動目標
山形県保育協議会	1 県内役員に取組みを説明し、保育所における「ごみ削減」に対する認識を深めるとともに、各保育所にて検討し取組みを行うよう提言した。	1 30年に引き続き、会員への周知推進に努める。 2 ごみ削減等のアイデアを募り、広報誌等にて提案周知する。 3 各保育所において、保護者にごみ削減について発信推進を図る。
NPO法人環境ネットやまがた	※ 別添資料⑤ 1 環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の活動の一環として以下の取組みを継続的に行った。 ・紙ゴミを毎月計測し、古紙回収に出す。 ・コピー枚数の削減。 2 当法人通常総会後に行われる懇親会で3010運動を呼びかけた。 3 廃油、廃ろうそくを使用した、キャンドル作り教室、イベントを開催した。 4 近くの河川の清掃活動を行った。	1 環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の活動の中で以下の取組みを継続的に行う。 ・紙ゴミを毎月計測し、古紙回収に出す。 ・コピー枚数の削減。 2 宴会における食品ロス活動を行う。3010運動を周知する。 3 廃油、廃ろうそくを使用したキャンドル作り教室、イベント開催。 4 河川の清掃活動。
山形県PTA連合会	1 山形県PTA連合会の各地区代表母親委員長(12名)へ、パンフレット「ごみゼロやまがた推進BOOK」を配付し、山形県の事業について周知した。 2 山形県PTA連合会の母親委員会研修時、山形市内各校からの参加者約200名にパンフレットを配付した。	○ パンフレット等による、ごみゼロ推進についての呼びかけ。
山形県保健環境活動団体連合会	※ 各市町村衛生組織活動例 1 生ごみ処理機購入補助 2 不法投棄防止活動 3 リユース食器利用推進事業 4 木材リユース事業 5 空缶散乱防止運動 6 EMボカシづくり講習会 7 粗大ゴミ回収斡旋事業 8 小型家電リサイクル事業 9 環境ポスターコンクール実施 10 廃タイヤ回収事業 11 資源回収奨励金交付事業 12 ごみステーション・リサイクルステーションの新設・修繕	○ 環境保全の面から「ごみゼロやまがた」実現に向け、3Rの考え方に基づく諸実践活動を推進するとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に向けた浄化槽の普及推進や適正な維持管理、水環境の保全活動、不法投棄防止活動並びに漂流・漂着ごみ対策等循環型社会の構築に向けた運動を引き続き展開する。
NPO法人みらい子育てネット山形	1 総会時、50名の参加者にリーフレットを用いて、生ゴミの水切りや3Rの推進、食品ロス削減に対しての呼びかけを行った。また、この際、エコ調理の話とエコ工作の実習を行った。 ※ 別添資料⑥ 2 会報にコーナーを設け、ごみゼロについての広報を行った。 ※ 別添資料⑦ 3 ボランティア等でエコ工作を行い、3Rについて親子で理解を深めてもらえるようにした。	○ 31年度も前年度と同様の活動をしていきたいと考えている。 ○ ドイツ交流員とのエコでの国際交流(予定)。
山形市	1 資源回収推進事業によりごみ減量と再資源化を図った。 2 生ごみ処理機購入に対する補助を実施し、生ごみの減量化及び堆肥化を促進した。 3 「生ごみやさいクル事業」により、乾燥式生ごみ処理機で乾燥し資源(肥料)化した生成物の循環利用とごみの減量を推進した。 4 雑がみ回収広報袋を作成・配布したほか、事業者、市民団体と連携した「雑がみリサイクルキャンペーン」の実施、資源物引取事業所の周知により、紙類布類の再資源化を推進した。 5 事業所から排出される古紙類再資源化の取組みについて周知広報を行った。 6 事業者、市民団体と連携して「食品トレー等リサイクルキャンペーン」を実施し、店頭回収の利用を呼びかけた。 7 小型家電リサイクル事業により、使用済小型家電の回収、再資源化を行った。 8 レジ袋削減のためマイバッグ持参を推進し、成果を確認するため、スーパー等の協力を得てマイバッグ持参率調査を実施し、啓発のためその成果を広報した。	○ 平成30年度と同様の活動を継続。

所 属	平成30年度の3R(ごみ削減等)に向けた活動状況	令和元年度の3R(ごみ削減等)に向けた活動目標
山形市	<p>9 ごみ減量方法出前講座でごみ減量と再資源化の周知を行った。</p> <p>10 市民、事業者、行政が共に考え、相互に協力して、ごみ減量と再資源化を推進している市民団体「ごみ減量・もったいないねっ山形」の活動支援を行った。</p> <p>11 同市民団体と連携し、宴会等での食べ残し削減のため「30・10運動～宴会編～」を推進した。</p> <p>12 同市民団体と連携し、家庭における食品ロス削減のため、冷蔵庫の中を定期的(毎月10日と30日)に整理する「30・10運動～家庭編～」を推進した。</p> <p>13 30・10運動(宴会編・家庭編)の実践について広報を行った。</p>	
公募委員 (横尾委員)	<p>《個人として》</p> <p>1 家庭生ゴミは、生ゴミ処理機を利用し家庭菜園の肥料で活用している。</p> <p>2 婦人会役員研修会で「ごみ減量とリサイクル」「食品ロス削減について」の研修を受けた。(講師:天童市生活環境美化衛生係指導員・技能士)</p> <p>3 買い物はエコバッグを持参し、食品トレイは店頭回収ボックスへ、牛乳パック、ペットボトル、アルミ缶、雑紙、段ボールはリサイクルステーションに出している。</p> <p>《事業所として》</p> <p>1 車の修理に部品交換が必要な場合、リサイクル部品を推奨している。</p> <p>2 保険業務はペーパーレスを心がけ、電子化を図り紙ゴミ削減に取り組んでいる。</p> <p>3 自社の車も電気自動車に替え、CO2排出量削減に努めている。</p>	<p>《個人として》</p> <p>1 31年度も継続していく。</p> <p>2 3R(特にリデュース=ごみになるものを減らす)を実施していく。</p> <p>3 31年度も継続していく。</p> <p>《事業所として》</p> <p>1 来客用テーブルなどにリーフレットを置き促していく。</p> <p>2 対象件数をもっと増やしていく。</p> <p>3 31年度も継続していく。</p>